

編集後記

年号が平成から令和に変わり、「令和初の所報」発行となった。平成は、戦争のない平和な時代と言われ、グローバル化やITの目覚ましい進化が語られる。しかし、その一方で人々の身体と心は置き去りにされている様に感じる。

近年、スポーツや教育現場におけるハラスメントのニュースが後を絶たない。スポーツ科学研究所でも、今年の大学祭にて『学びに圧力は必要か？—学生の自発的な学びの促進に向けて—』という強いインパクトのタイトルでシンポジウムが開かれた。解決の糸口を見つけるのは難しいが、時代が変化する中で、スポーツや教育界、そして社会が抱える問題に向き合っていく所存である。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も迫ってきている。そして、スポーツ健康学部は今春から4学年が揃い、あと1年で完成年度を迎えようとしている。節目、節目に時代を見返し、未来を想像し、創造していく。

「平成」という名の付いた本学は、新しい時代にどのような未来を描いていくのだろうか。新しい時代に期待し、令和初の所報を閉じたい。

(幅田彩加)

投稿された論文に対して査読の労をとってくださったのは、以下の先生です。記して謝意を表します。

栗田昇平 (聖カタリナ大学)

編集委員

久保潤二郎 幅田彩加

平成国際大学スポーツ科学研究所所報 2019

| | |
|-----|--|
| 発行日 | 令和2(2020)年3月31日 |
| 発行所 | 平成国際大学スポーツ科学研究所 〒347-8504 埼玉県加須市水深大立野2000 |
| TEL | 0480-66-3002 |
| 印刷所 | (株)インフォルム |